

「なぜ」から始まる 科学的思考文化の定着 (平成30年度重点努力目標)

西条高校は、平成30年度から5年間、文部科学省が指定するSSH（スーパーサイエンスハイスクール）に選ばれました。「なぜ」から始まる科学的思考文化の定着を平成30年度の重点努力目標として教育活動を行っています。

災害時搬送講習会

11月6日(火)西条東消防署署員の方をお招きし「声をかける勇氣、手当てする技術、工夫する知恵」をテーマに、災害時におけるけが人、病人等の搬送方法について学びました。現場にある道具を使用する搬送方法として、毛布や棒、上着などを利用し、応急担架を作る方法を教わり、実際にクラスごとで実践しました。



1年 有法子 テーマ「医療」

1年生は、4月から「防災」「経済」「国際」をテーマに西条市の持つ課題について学んできました。今回は、最後のテーマである「医療」についての活動をご紹介します。

■ 講座1 「地域課題連携講座～西条市の医療・福祉～」

西条市役所健康医療推進課 三瀬 愛美 氏

現在、全国的にガン検診の受診率が低く、西条市も特に40～50代男性の受診率の低さが問題になっています。西条市の取組として、検診案内の個人通知やインターネットでの検診予約、託児所付きの検診などを行っています。多くの方がガン検診を受診し、自分の健康を考えてもらうにはどうすれば良いか考えました。

■ 講座2-1 「西条市を取り巻く医療環境と地域医療への取り組み」

西条市役所健康医療推進課 白石 元 氏

西条市は、医師の高齢化に伴い、病院の数が年々減っています。また一人当たりの医療費の増加で、市の予算に占める医療費の割合も今後増えていくことが予想されます。特に、団塊の世代が75歳になり、高齢者人口の更なる増加が予想される2025年に向けて、西条市が取り組んでいることについて学びました。

■ 講座2-2 「医療職現場から伝えたいこと」

西条市役所健康医療推進課 伊藤 ゆり 氏

過去に経験された看護師の仕事、現在就かれている保健師の仕事について、勤務体系や1日のスケジュールなど実体験を踏まえて話していただきました。医療職は、相手の立場で物事を考えられる心、学び続ける姿勢、自分自身の健康管理が特に必要だということを教えていただきました。

■ 「医療」の発展学習



講座後の振り返り活動として、病気の予防の意識を高めるためにできること、2025年問題に対して私たちが提案できることについてグループで考えました。

(生徒の感想)

- ・私は今まで健康診断が具体的にどのようなものか知りませんでした。そのため、診断に対する意識が低かったように思います。きっと私のように診断方法が分からないから受診しないという人がいると思うので、具体的な方法を広く明らかにしていく必要性を感じました。
- ・ガン検診の動画を見て、検診はとても大変だと思いました。そして何より「行きたくない」と思ったのが正直な感想です。理由はとても時間が掛かることです。受診率が低い理由の1つとして、検診時間の問題があるのではないかと思います。

2年 課題研究



2年生の国際文理科は、自分たちの興味のある分野でテーマを設定し、課題研究を行っています。11月14日(水)に研究成果に関する中間発表会が行われました。発表したグループのテーマは以下の通りです。

■ 国際科

- ・私たちの文学的ルーツを探る
～どう考え、どう表現してきたか～
- ・ローカルファンドを活用した西条市商店街の活性化
- ・外国人に対する防災支援を考える

■ 理数科

- ・サルチル酸誘導体の抗菌活性2
- ・油脂の過酸化価値の測定
- ・終端速度と物体の質量の関係
- ・あらしを呼ぶ男
～肱川あらしにみる加茂川あらしの可能性～
- ・折り紙で数学問題を解く
- ・西条高校周辺の水系環境調査
- ・マイクロプラスチックが生物に及ぼす影響
- ・ハンドスピナーの回転の有無と振り子の周期